小規模特認校の紹介～特色ある教育活動～

※学校のホームページやブログからもご覧になれます。

【出雲市立上津小学校】

ホームページ:https://www.izumo.ed.jp/kamitsu-sho/　ブログ:https://blog.izumo.ed.jp/kamitsu-sho/



【少人数によるきめ細かな教育】

少人数で学習することで、一人一人の課題に対応しやすく、めあてに沿った学習ができます。全職員で子どもを見守り、相談しやすい体制ができています。ペアやグループ学習もさまざまな教科で取り入れています。



【情報タイム】

週に１回、全学年が約３０分間の時間を取り、タブレットを使いながら情報に関することを学んでいます。情報スキルだけでなく、情報モラルやリテラシーについても学年に応じた学習を進め、まとめや発表の際に生かしています。



【ふるさと教育】

上津にある「ひと・もの・こと」を取り入れた学習を進めています。米や野菜づくり、「カエルランド」等を活用した環境学習、獅子舞等の伝統芸能についての学習など行い、地域の皆さんにも、たくさんお世話になっています。



【全校での活動】

『人権の花』の世話、人間関係づくりや対話力育成を目的とした『だんだんタイム』、体育会や１年生を迎える会など、高学年を中心に全校で行います。みんなが顔なじみで、休み時間も違う学年が一緒に遊んでいます。また、『野山の集い』では４年生がリーダーとなり、活動に取り組んでいます。

【出雲市立みなみ小学校】

ホームページ：https://www.izumo.ed.jp/minami-sho/　ブログ https://blog.izumo.ed.jp/minami-sho/



【幼小の交流活動（幼小連携）】

子どもたちは遊びを通してさまざまな経験、体験をして成長していきます。そのため、遊びの時間や縦割り活動の時間はとても重要だと考えています。みなみ小学校では朝山幼稚園との交流を通じて３歳から１２歳の子どもたちがかかわり合いを持ちます。幼児、児童がともに過ごし、一緒に遊ぶことはとても大切な体験です。５年生は幼稚園の子どもたちと田植え体験をします。田植えの前に５年生は幼稚園の子どもたちと顔合わせをし仲良くなる遊びをするので、名前を呼びながら一緒に楽しく活動します。



【みなみ探険（ふるさと教育）】

みなみ探険ではふるさとの良さを知ることを目的に全校児童と幼稚園児とで、乙立・馬木・朝山・所原（見々久）と毎年順番に周っています。お話を聞いたりクイズをしたりする中で今まで知らなかったことを知ることもでき、あらためて、ふるさとみなみには素晴らしい歴史や文化、自然があることに気づくことができます。このみなみ探険では縦割り班に分かれて活動します。上学年は下学年や園児に声をかけたり、一緒に手をつないだりします。地域の方にも見守っていただきながら、地元の方とふれあうこともできます。



【高齢者のみなさんとの交流（福祉教育）】

１年生は「みどりの郷」、３年生は「乙立コミュニティセンター」で高齢者の方との交流をしています。学級の紹介をしたり、歌を歌ったりした後、お手玉、折り紙、自分たちで考えたゲームなどを一緒に楽しみます。子どもたちも地域の皆さんの愛情をたっぷりと感じることができ、高齢者の方もみんなさん笑顔でかかわってくださり、本当に心がポカポカする素敵な時間になっています。



【なかよし運動会】

朝山幼稚園とみなみ小学校の強みは縦割り集団の力です。５，６年生の心強い、一生懸命なリーダーシップと３，４年生の明るく、優しい関わり、１，２年生のそれに応えてがんばろうとする姿。そして、それを生き生きと楽しむ園児の様子。こうした今まで受け継いできた集団の力で、さらにそれぞれが成長し、互いに高め合っていくことができる環境にあります。今後も次の成長へとつながる学びの場を大切にしていきます。

【出雲市立稗原小学校】
ホームページ：https://www.izumo.ed.jp/hiebara-sho/　ブログ：https://blog.izumo.ed.jp/hiebara-sho/



【幼・小共通のキャッチフレーズ
「ときめき　ひえばらっこ」】

幼・小共通のキャッチフレーズのもと、教育活動を推進しています。

「とき」　…　トキ放鳥地に決定！
　　トキに関する学習の推進
「めき」　…　めきめき力をつけよう！
　　学びづくり　自分・仲間づくり
　　心からだづくり
「ときめき」…ドキドキする体験をたくさんしよう！



【コミュニティスクールを生かした
教育活動の推進】

コミュニティセンター、幼稚園と一体となった校舎で、連携した教育活動を推進しています。文化祭でのブース参加や合同体育大会、神楽や米作り、餅つきなど地域と連携した活動をたくさんしています。幼小連携も盛んで、たけのこ掘りなど様々な交流活動を行っています。



【トキ放鳥に向けた教育活動の推進】

令和９年、西日本で初めてとなるトキの放鳥地に所在している本校では、５，６年生を中心にトキに関する学習を始めています。今年放鳥があった石川県羽咋市の小学校との交流も決定しました。また、幼稚園と１，２年生は地域の豊かな自然に触れる遊びや体験を、３，４年生は地域の川の水質調査から自然環境を考える学習に取り組んでいます。



【少人数を生かしたきめ細やかな
指導・支援の充実】

本校では、「自律的学力育成」をめざし、自分たちで学習を進める力を高め、対話的な学びを大切にした授業を展開しています。また、縦割り活動等をとおして、「認め合い、支え合い、高め合う関係づくり」を進めています。全教職員で子ども一人一人を多面的に見つめることを心がけて教育活動を推進しています。

【出雲市立伊野小学校】

ホームページ：https://www.izumo.ed.jp/ino-sho/　ブログ：https://blog.izumo.ed.jp/ino-sho/



【充実した地域学習】

「シジミ漁の見学」、「伊野米の栽培」、「ゴルフ体験」など、伊野の方にお世話になりながら充実した学習をしています。子どもたちは、このような他ではなかなかできないような見学や体験から様々なことを感じたり、考えたりしながら伊野のことや感謝の気持ちなどを学んでいます。



【伊野いちへの参加】

住民と一緒に産直市運営をする「伊野いち」。出雲市内外からたくさんのお客さんがいらっしゃるイベントに５，６年生が中心となって参加しています。全校で育てたサツマイモ等を販売したり商品の袋詰めやおもてなしコーナーのお手伝いをしたりして、「人に喜んでもらえること」「人のやさしさ」、「地域の人の思い」など、様々なことを学んでいます。



【かかわりから学ぶ縦割り班活動】

いろいろな学年の人とかかわることで、感謝や思いやり、尊敬など様々な心情が育つ活動をしています。「縦割り班メンバーとの出会い」、「縦割り班遊びで楽しむ」、「サツマイモの栽培・縄跳び集会等で協力する」、「６年生を送る会でのフィナーレ」など、１年間を通してストーリー性のある活動を計画し、意図的な場の設定や指導をしています。



【自分の将来と地域の未来】

伊野で様々な学びをしている子どもたち。特に６年生はその集大成として、伊野の未来について地域課題と自分とをかかわらせて自分たちにできることは何か考え、『町の幸福論』（３年前まで６年生の国語の教材）の著者である山崎亮さんに提案しアドバイスをいただく機会を設定しています。伊野を通して、自分の将来や社会を見つめるきっかけとなっています。

【出雲市立須佐小学校】

ホームページ：https://www.izumo.ed.jp/susa-sho/　ブログ：https://blog.izumo.ed.jp/susa-sho/



【地域に根ざした豊かな体験】

学校と地域が一体となり、佐田町の「ひと・もの・こと」を生かした教育活動を行い、豊かな自然を体験するとともに、地域の歴史や文化について学びます。全学年のふるさと教育で、温かい地域の方々とたっぷりとふれあったり、保育所や中学校も含めた異学年で共に活動したりして、実際の社会や生活と結びついた豊かな学習を実施しています。



【『好き』を育み、『得意』を伸ばす学びの場】

子どもたちの教科横断的な学力の向上を目指して、全学年共通の内容で毎日２５分間を学び直しや個別最適な学習の時間として設定し、様々な学習に取り組んでいます。読書、読み聞かせ、全学年の漢字読みや英語読み、１００マス計算、要約学習、AI ドリル、だんだんタイムなど、地域ボランティアの方にも関わっていただきながら、どの学年もいつでも自分のペースで取り組むことができる学力向上の場を工夫しています。



【地域とともにある学校】

佐田町内には、図書館や習い事、地域の行事など、学校での学びをもっと深めたいという子どもたちの願いを叶える場が様々にあり、地域全体で子どもたちを温かく育む環境があります。また、放課後児童クラブは、小学校の校舎内に併設されており、１年生から６年生の半数以上の児童が利用しています。学校と連携をとりながら、体育館や校庭を使用した活動もしています。



【安心して学び生活できる学校】

少人数であることを生かし、きめ細やかな学習や生活の支援を行っています。そのために、毎月学校生活アンケートを行ったり、特別活動（特に縦割り班での活動）などにおいて様々な教職員が関わったりするなど、全教職員で子どもたち一人一人の悩みや不安を受け止め、意欲を高め、可能性を伸ばすよう取り組んでいます。

【出雲市立佐田中学校】

ホームページ：https://www.izumo.ed.jp/sada-chu/



【全校生徒による活動】

学年の枠を超えて全校生徒で行う活動を実施しています。毎週月曜日には、昼休みに運動や遊びに全校生徒で親しむ「らんらんタイム」を設け、放課後には人間関係づくりやソーシャルスキルの向上を目的に、少人数のグループで活動する「だんだんタイム」を実施しています。



【緑の少年団活動を核とするふるさと教育】

佐田中学校緑の少年団は、１９８４年に結成され、当初は杉の木の植林から始まり、現在は間伐作業や間伐材を利用したベンチの製作を行っています。森林組合や地域ボランティアの協力によって行われているこの活動は、全国表彰を受賞するなど全国的に高く評価されています。



【教科教室を活用した授業】

平成 27 年度に地元産の木材を使用して校舎が新築され、生徒は明るく木の温もりを感じることができる恵まれた環境で学校生活を送っています。校内には県内でも数少ない５教科（国語・数学・理科・社会・英語）の教科教室が整備され、各教科に応じて学習環境の整えられた教室で授業が行われています。



【義務教育学校開校に向けた活動】

令和１２年度に須佐小学校と統合して、義務教育学校として開校する予定です。義務教育学校では、小中学校が一つの学校として一貫性・系統性のある９年間の教育課程を編成することができ、小学校課程から中学校課程へ円滑に接続・移行ができるようになります。令和９年度以降、須佐小学校と合同の学習や行事を計画しています。